

# 医療現場における成年後見制度への理解及び病院が身元保証人に求める役割等の実態把握に関する研究

研究代表者 山縣 然太郎  
(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「成年後見制度利用促進基本計画」及び「身元保証等高齢者サポート事業に関する消費者問題についての建議」を踏まえ、医療機関が成年後見人や身元保証人に求める役割や支援の内容、医療機関職員の制度理解の状況といった実態把握を行うことを目的とした。

## 2. 調査対象

全国の調査対象医療機関に所属する院長、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職。

## 3. 調査事項

### 【成年後見人に関する調査】

成年後見制度についての知識、成年後見制度を利用している患者を担当した経験、医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応等。

### 【身元保証人に関する調査】

身元保証人等の役割、身元保証人等が得られない場合の対応等。

# I. 調査の概要

## 4. 調査の方法

### (1) 郵送法による質問紙調査

医療機関毎の配布枚数は、各種病院（4,602箇所）へは成年後見人に関する調査票 6枚と身元保証人に関する調査票 1枚を配布し、有床および無床診療所（1,500箇所）へは成年後見人に関する調査票 1枚と身元保証人に関する調査票 1枚を配布した。

### (2) ヒアリング調査

成年後見人へ医療行為の同意を求めたケースの詳細な実態把握および身元保証人を求めるようになった経緯や身元保証人に求める役割についての詳細な実態把握を行うため、アンケート調査に回答した個人へヒアリング調査を実施した。

平成29年9月～10月  
質問紙調査実施

【成年後見人に関する調査】  
回収枚数 5,168名（回収率17.8%）

【身元保証人に関する調査】  
回収枚数 1,399名（回収率22.9%）



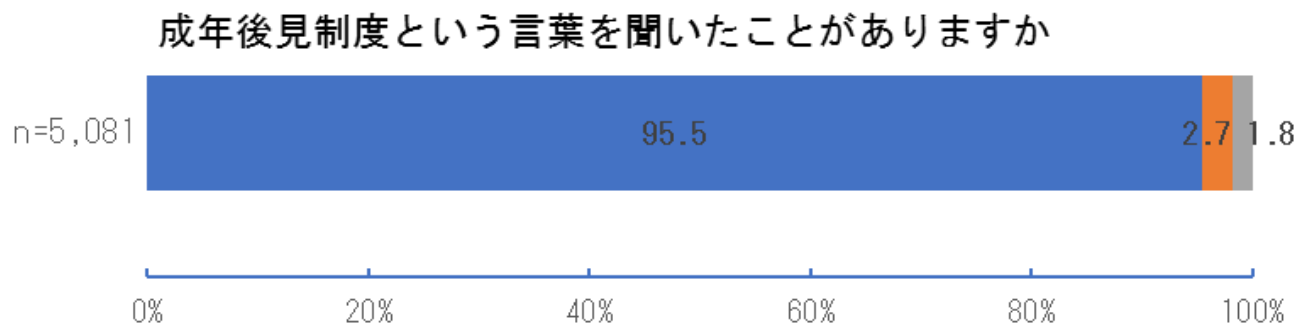
平成30年1月～2月  
ヒアリング調査実施

【成年後見人に関する調査】  
対象者 医師4名,看護師1名  
医療ソーシャルワーカー3名

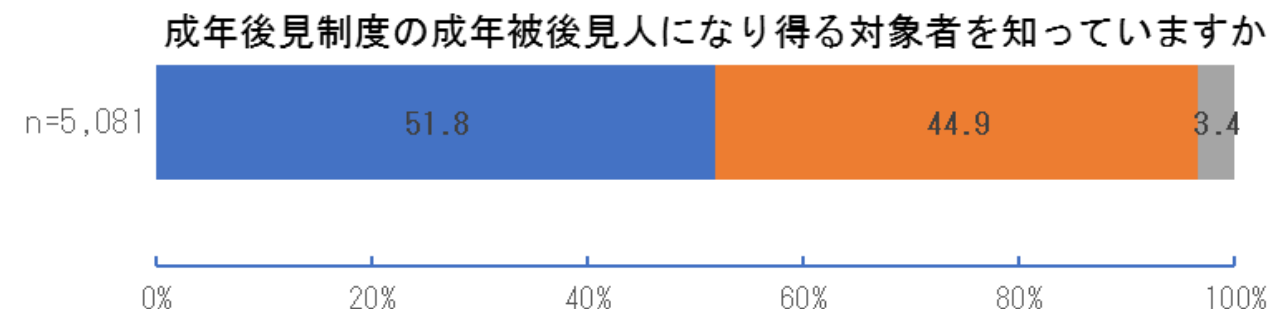
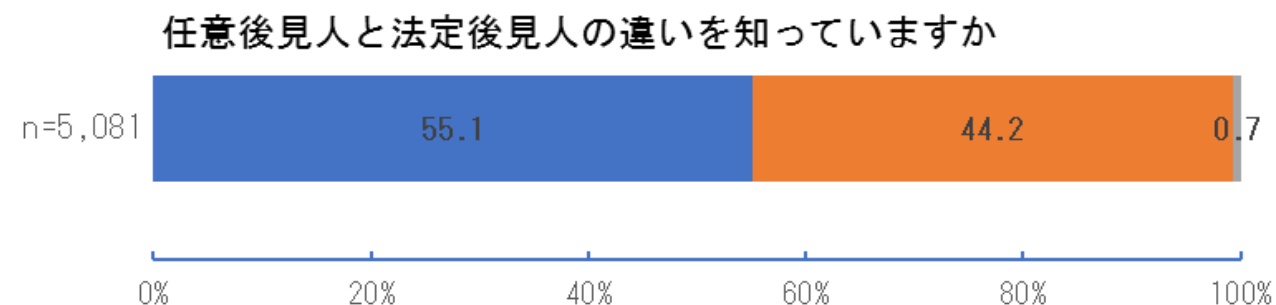
【身元保証人に関する調査】  
対象者 医師3名,事務職3名  
医療ソーシャルワーカー1名

## II. 調査結果の概要（成年後見人に関する調査）

### ○ 医療従事者であっても成年後見制度の詳細について理解が不足している可能性



成年後見制度の導入から  
10年以上が経過しているため、  
言葉は周知されつつある。



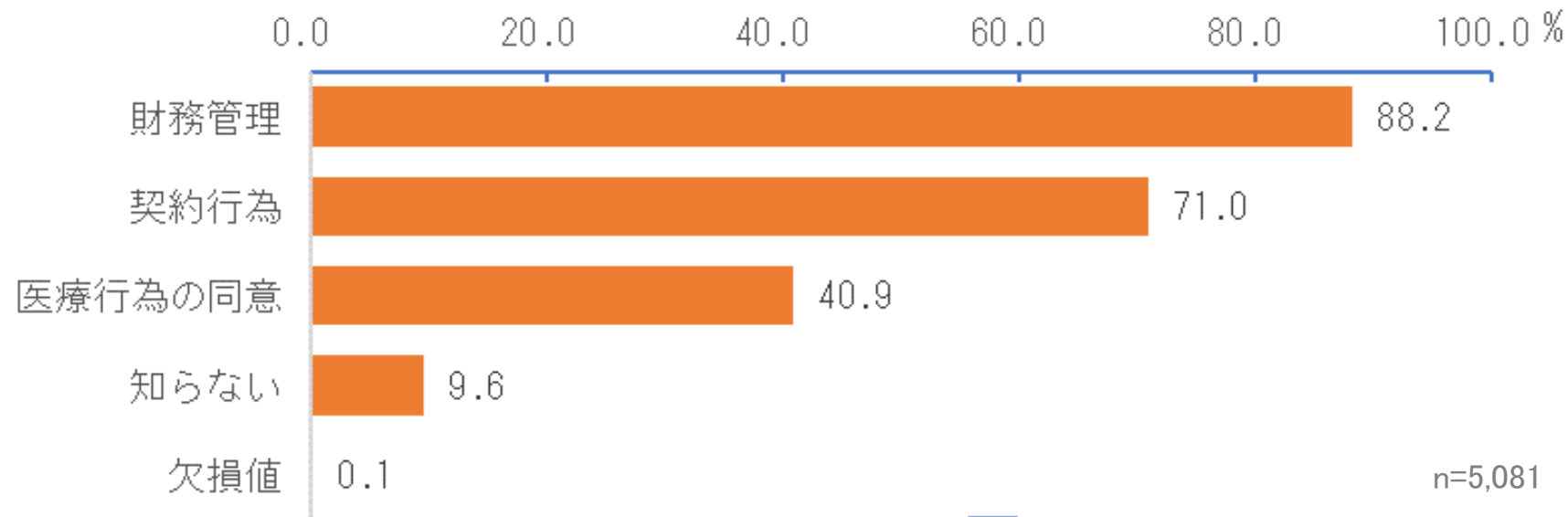
■ はい ■ いいえ ■ 欠損値

一方で、成年後見制度の詳細  
については医療従事者であっ  
ても、理解していない人が多く  
を占める可能性が考えられる。

## II. 調査結果の概要（成年後見人に関する調査）

### ○ 医療従事者であっても成年後見制度の詳細について理解が不足している可能性

成年後見人の職務内容についてどのようなものが含まれるとお考えですか（複数回答）

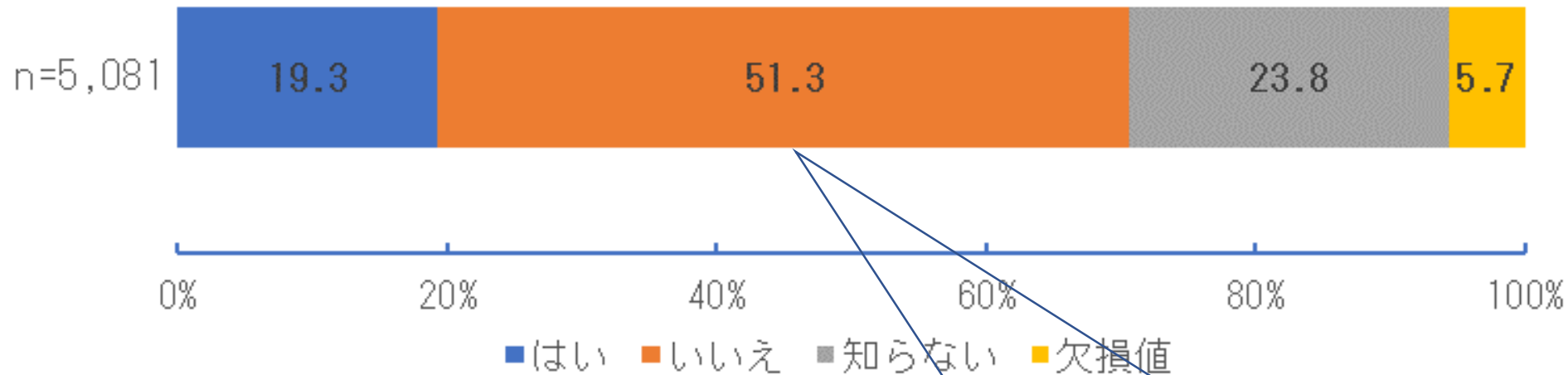


今後、医療従事者が成年後見制度を利用している患者を担当する機会が増すことが予測されるため、医療従事者を対象に制度の知識についての普及・啓発が必要であると考えられる。

## II. 調査結果の概要（成年後見人に関する調査）

○ 所属する医療機関において、医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応についての規定や手順書がないと答えた回答者が5割超

貴院では医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応について  
規定や手順書はありますか

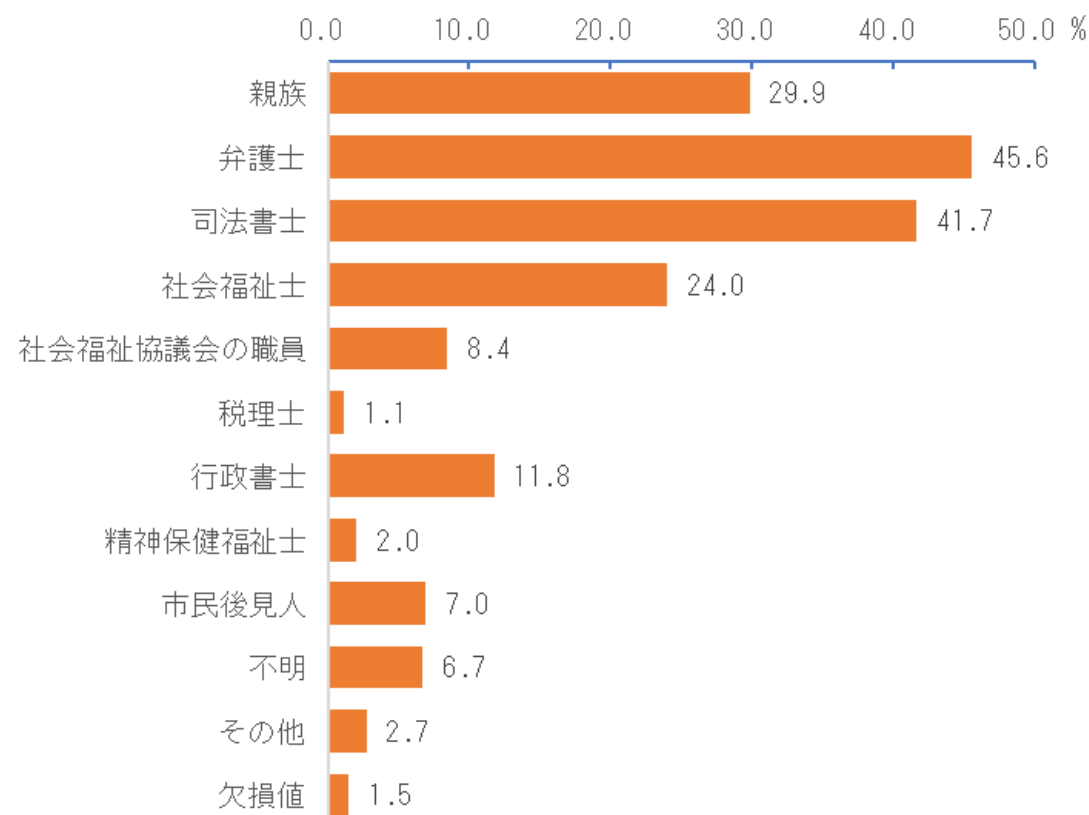


医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応についての規定や手順書がない医療機関が多く、規定のない中で個別の対応を求められている現状がうかがえる。

## II. 調査結果の概要（成年後見人に関する調査）

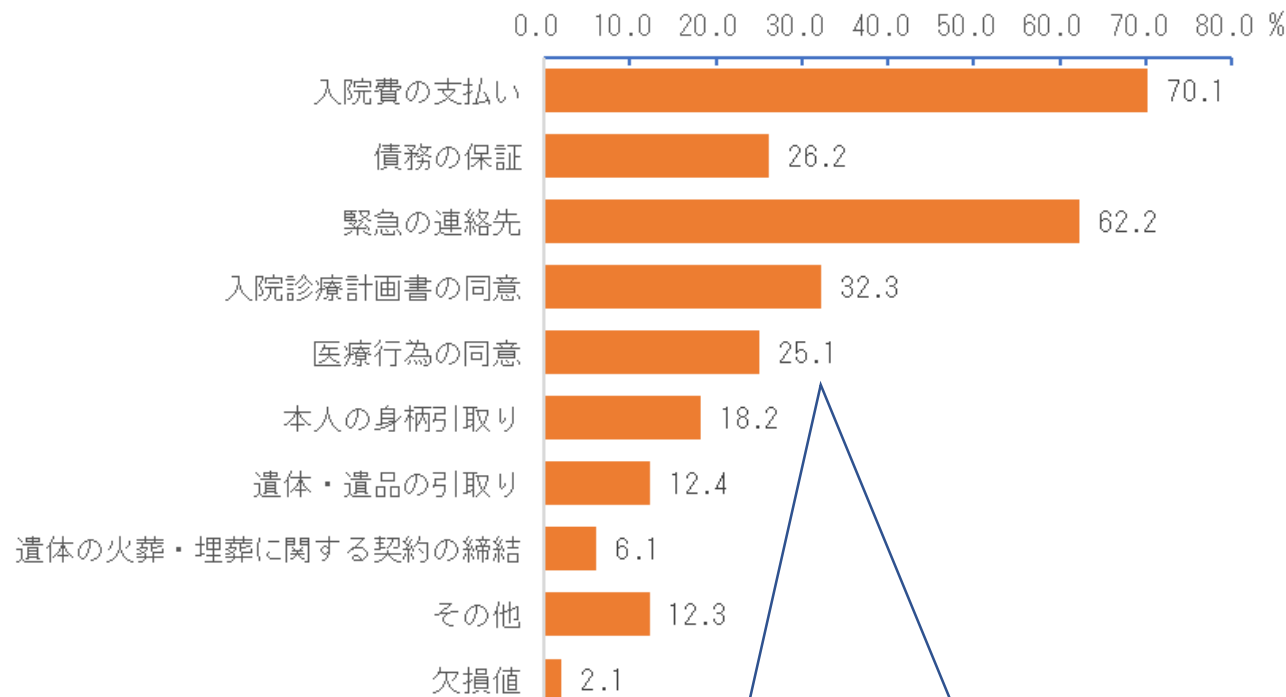
○ 医療の場において、成年後見人を担っていた人は「弁護士」が多く、「入院費の支払い」、「緊急の連絡先」、「入院診療計画書の同意」などの場面で利用されている

成年後見人は、実際にどのような方が担っていましたか（複数回答）



n=2,546

成年後見制度を利用したのは、どのような場面でしたか（複数回答）



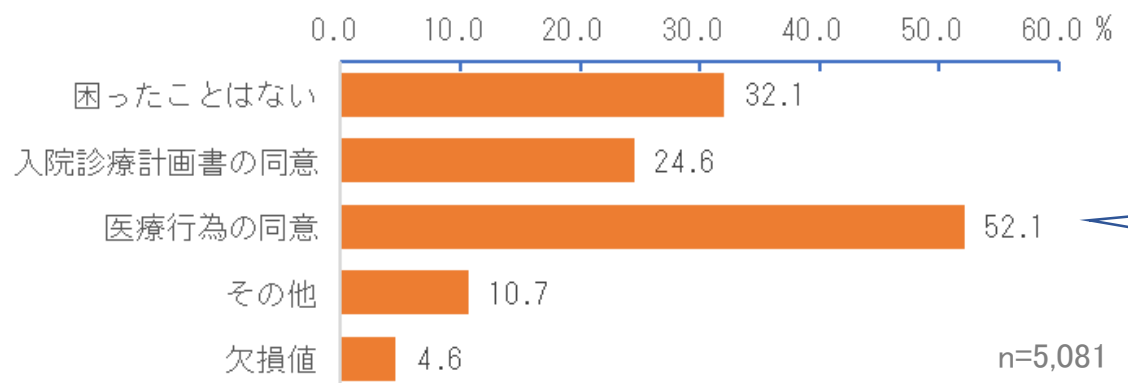
成年後見制度を利用した場面において、成年後見人に「医療行為の同意」を求めたことがある回答者が2割超。

n=2,546

## II. 調査結果の概要（成年後見人に関する調査）

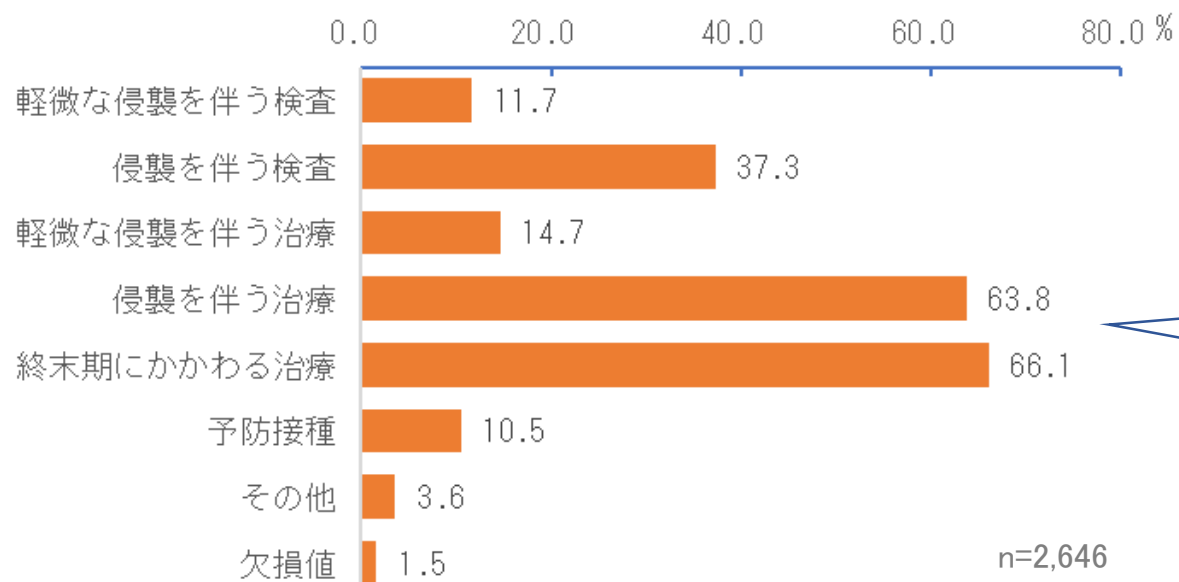
### ○ 医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応で困ることは「医療行為の同意」

医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応で困った場面はどのようなケースですか（複数回答）



医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応で困った場面は「医療行為の同意」が52.1%と最も高かった。

具体的に次のどのようなケースですか（複数回答）



医療行為の同意の具体的な内容は、「侵襲を伴う治療」や「終末期にかかわる治療」などが高い割合を占めていた。



## II. 調査結果の概要（身元保証人に関する調査）

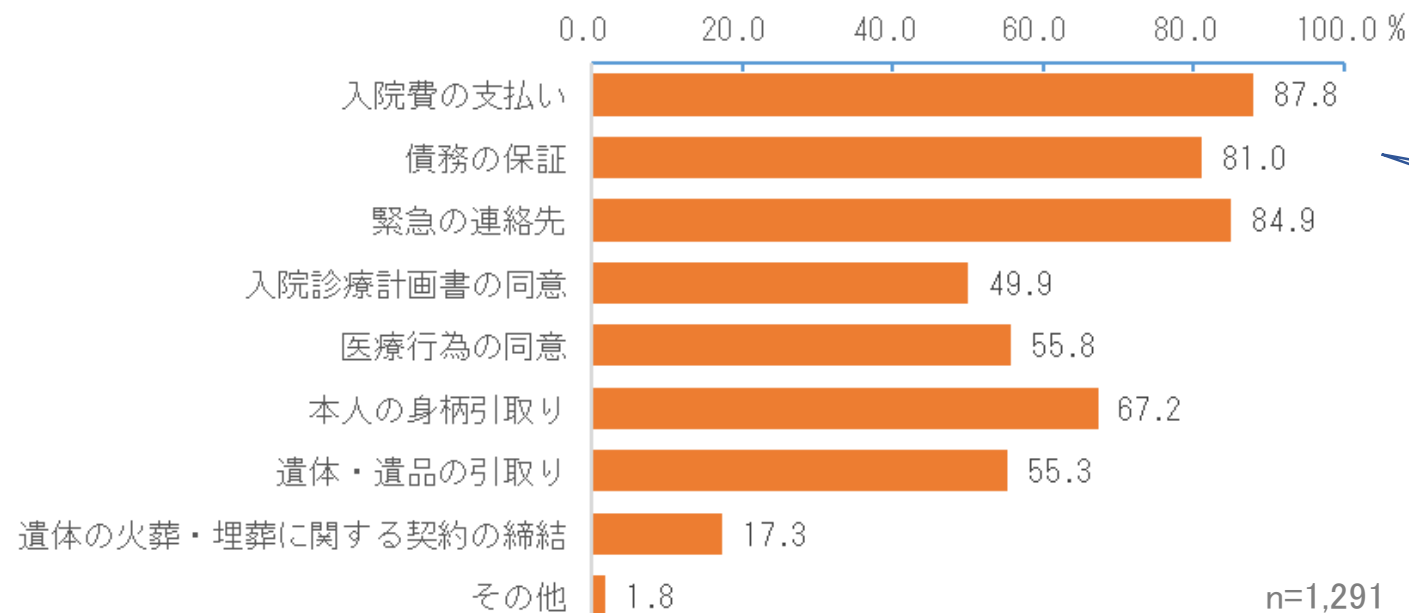
### ○ 入院時に身元保証人等を求めている医療機関が6割超

貴院では、入院時に身元保証人等を求めていますか



65.0%の医療機関が「入院時に身元保証人等を求めている」と回答していた。

貴院が、身元保証人等に求める役割は何ですか（複数回答）

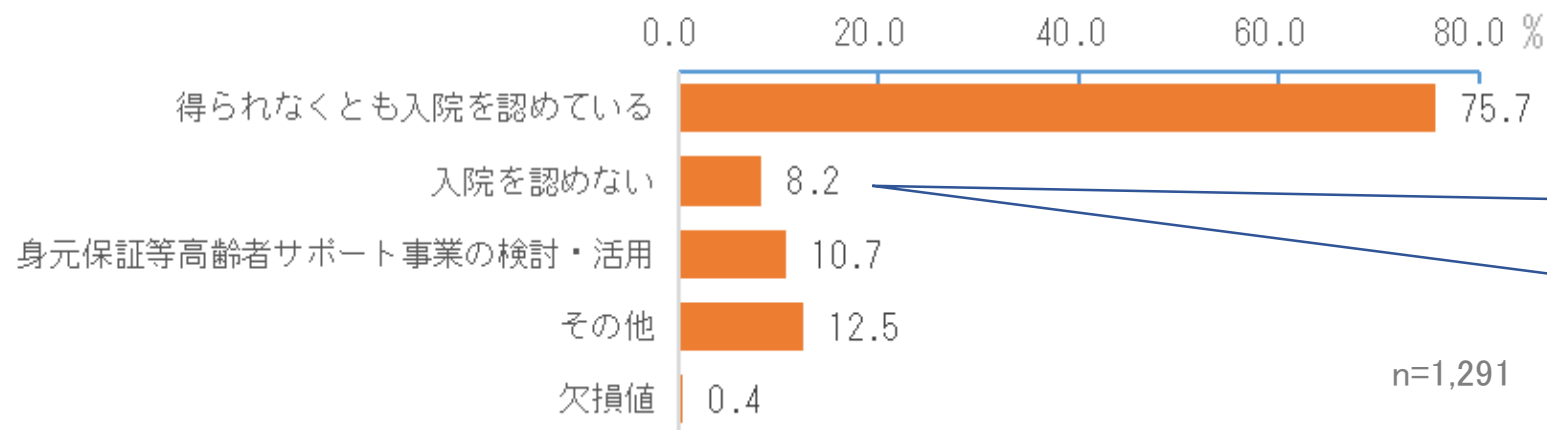


「入院費の支払い」と答えた医療機関が87.8%と最も高く、次いで「緊急の連絡先」が84.9%、「債務の保証」が81.0%と続いていた。

## II. 調査結果の概要（身元保証人に関する調査）

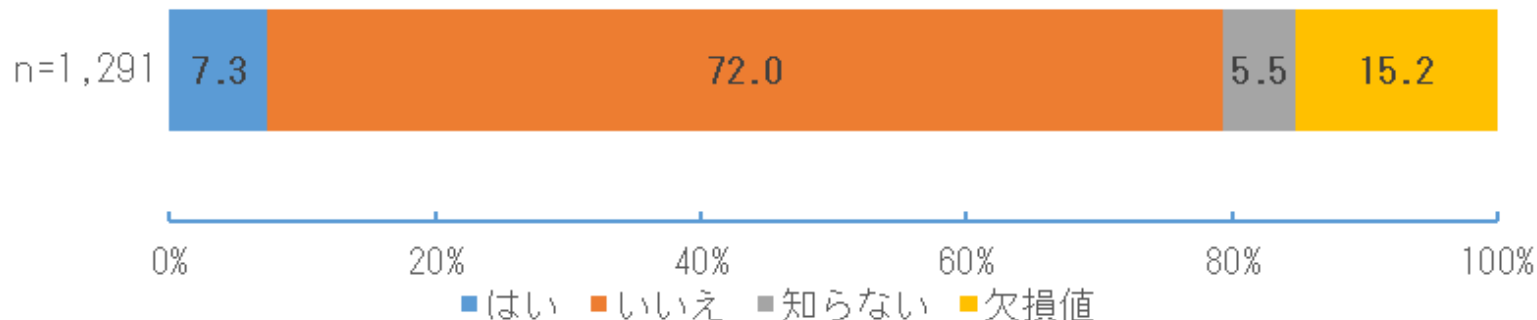
### ○ 身元保証人等を得られない場合に入院を認めない医療機関が1割弱

入院にあたり身元保証人等が得られそうにない場合には、  
どのようにされていますか（複数回答）



入院にあたり身元保証人等が得られそうにない場合の対応について、「入院を認めない」と答えた医療機関は8.2%の割合を占めていた。

貴院では身元保証人等が得られない患者への対応について規定や手順書  
はありますか



身元保証人等が得られない患者への対応についての規定や手順書がない医療機関が7割超。

# III. まとめと今後の課題（成年後見人に関する調査）

## 現状

- 医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応についての規定や手順書がない医療機関が多く、規定のない中で個別の対応を求められている。
- 医療にかかわる意思決定が困難な患者への対応では「医療行為の同意」に苦慮している現状が、うかがわれる。



## 課題

- 意思決定が困難な患者への成年後見人の関わり方についてのモデルがない。
- 医療の場での成年後見制度の適切な活用方法が分からない。



## 今後の対応

- 成年後見人は、身上監護の点から、医療行為の意思決定の支援に参加してもらうことが望まれる。そのためには、成年後見制度の理解の促進やアドバンス・ケア・プランニングの推進が重要である。
- 医療機関によって環境要因や人的要因が大きく異なることを考慮して、医療機関規模別、機能別に好事例の調査を実施し、それぞれのモデル事例を周知することが望まれる。

### III. まとめと今後の課題（身元保証人に関する調査）

#### 現状

- 多くの医療機関において、入院時に身元保証人等を求めることは慣習として広まっている。
- 身元保証人等は医療費の支払いから日常の世話までを網羅する家族と同様の役割を求められていることがうかがえる。



#### 課題

- 身元保証人等がないことのみをもって、入院を拒否している医療機関が存在する可能性がある。



#### 今後の対応

- 身元保証人等が得られない場合の入院がどのようなプロセスを経て、入院に至っているのか、また入院を拒否するプロセスについてのヒアリング調査が望まれる。